

# こんなときは兵庫県弁護士会へ

兵庫県弁護士会では、様々な窓口を設け、市民の皆様のご要望にお応えしています。

## 犯罪被害にあったとき



犯罪被害者やその遺族の方への無料相談

犯罪被害者支援センター  
078-341-8227

## 訴えられたとき



裁判等の当事者対象の無料相談

民事・家事事件当番弁護士  
078-341-5000

## 借金・生活



借金による多重債務についての相談

神戸 078-341-1717  
西播磨 079-286-8222  
阪神・伊丹・川西・宝塚 06-4869-7613

## 高齢者・障がい者相談



高齢者・障がい者についての専門法律相談。来所・出張・電話相談可

高齢者・障害者総合支援センター  
078-341-0550

## 逮捕されたとき (当番弁護士制度のご案内)



逮捕された方への当番弁護士派遣のお申込み

神戸 078-341-2940  
阪神 06-6412-8030  
明石 078-360-6056  
播磨 079-224-7115  
但馬 078-360-8301

## 法律相談したい



県下13箇所の相談所での弁護士による一般相談窓口。どこへ相談して良いか分からないという方はまずはこちらへ

### 総合法律センター

神戸 078-341-1717  
西播磨 079-286-8222  
阪神・伊丹・川西・宝塚 06-4869-7613  
北播磨・山崎・南たじま・明石・淡路・丹波 078-351-1233

## 住宅でもめているとき



住宅紛争審査会での住宅紛争処理手続きについて

問合せ 078-367-3616  
申込み 0570-016-100

## 仲裁・裁判外の解決 (ADR)



紛争解決センターによる和解あっせん制度のご紹介

問合せ  
078-341-8227

## 遺言・相続



遺言や相続に関する無料電話相談窓口

遺言・相続センター  
078-382-4115

## 中小企業相談



売掛金の回収や事業承継など中小企業にまつわる無料相談窓口

ひまわり中小企業センター  
0570-001-240

## 消費者被害にあったとき



商品先物、証券取引、マルチ商法、インターネット取引、欠陥商品、欠陥住宅など、消費者被害に関する専門相談窓口

消費者被害救済センター  
078-341-1810

## 労働相談



解雇や雇止め、賃金等の未払いなどでお困りの方のための労働相談窓口

総合法律センター又は法テラス兵庫  
050-3383-5440

## 子どもに関する相談



いじめ、体罰、虐待、不登校、校則、少年事件などについての相談(無料)

子どもの悩みごと相談  
078-341-8227

## DV相談



DVとは何かのご説明や、支援の法制度、相談窓口などのご案内

総合法律センター又は法テラス  
DV等被害者法律相談援助制度の申込  
0570-079-714

## 空き家対策支援センター



空き家に関する法律問題に対応できる弁護士の紹介、自治体等での空き家問題セミナーへの弁護士派遣などを行います

空き家対策支援センター  
078-341-5110

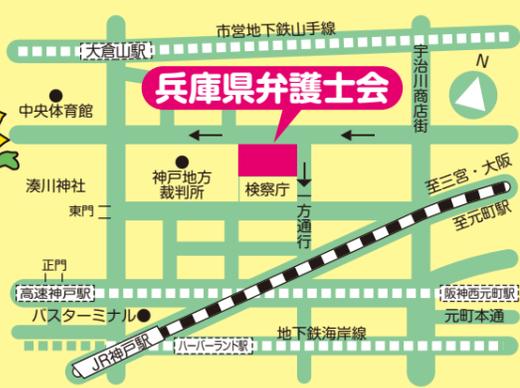
どの窓口かわからない場合でも、まずは、兵庫県弁護士会までお電話ください。

## 兵庫県弁護士会館

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-4-3

TEL:078-341-7061

兵庫県弁護士会  
イメージキャラクター  
ヒマリオン  
Since2001



ふつうのことを当たり前に行っているだけ。  
役所は市民の味方、行政は市民のために存在しているのだから

## 丹波篠山市長 酒井隆明さんと会長の対談



酒井隆明さんは司法修習33期。兵庫県弁護士会の会員として14年弁護士活動をした後、1995年に兵庫県議会議員となり、2007年からは丹波の黒豆で知られる丹波篠山市長として活躍中。現在4期目ですっかり丹波篠山を象徴する「顔」となっている。財政再建や住民参画など政治家としての手腕が高く評価されているが、一方、社会的な弱者に対する救済施策に見られる優しいまなざしや不正義に手段を尽くして敢然と立ち向かう法律家としての姿勢も輝いている。同朋である弁護士たちへのメッセージをうかがった。



## ■弁護士から地方自治の世界に転身

津久井 このたび『兵庫県弁護士会125年会史』を発行しました。酒井市長のところには届いていませんよね。記念に一冊進呈いたします。

酒井 おお、ありがとうございます。(パラパラめくりながら)○○さん貫禄出ましたな。そういえば△△さんはどうしてますか?◇◇先生は偉くなりましたね。そうそう、同期の◎◎さんは・・・(延々と思いつき話が続く)

津久井 酒井先生には、私が弁護士に登録した直後の平成7年の会派の会合に「私は今度の県議会議員の選挙に出ます」とご挨拶に来られたときにはじめてお目にかかりました。弁護士になったばかりの私は「せっかく弁護士になったのに、なぜ議員になるの?」と驚いたのを覚えています。

酒井 そうでしたか。筍友会でしたね。あの年は阪神・淡路大震災が起きて、4月に予定されていた統一地方選挙が6月にずれましてね、それでちょっと間が空いた時に「やるか!」という気になりました。ちょうど40歳で青年会議所を卒業したばかりで、思い立ったんですよ。

津久井 震災がひとつのきっかけだったんですね。14年間の弁護士活動ですが、弁護士の世界から政治の世界に飛び込んだ動機は何だったのでしょうか。

酒井 少しでも困った人の助けになる仕事をしたいという思いもあって弁護士になりました。同期の坂本さんと一緒に神戸で独立しましたが、地元のためにと思い、事務所を移して三田、丹波地域で仕事をしました。小さな事件ばかりやっていました。都会と違って高い金額の事件ありませんね(笑)。そのころ、JR福知山線の複線化・電化が進んで、都市化を進める動きが活発になったのですが、地元の青年会議所で理事長をしていたときに「ふるさと 森よ、川よ、生きものよ」とスローガンを掲げて活動しつつ、

丹波篠山らしい自然や農業、歴史や文化を中心にしたまちづくりをしなければならないと思ったんですよ。

津久井 見事当選されて12年間の県議会議員。そして市長になられてもう14年になります。

酒井 市長になった直後は、財政再建が最大の課題でした。職員の給料もカットして色々やりました。まず情報公開が第一だと訴えてきたので、それまで明らかで無かった財政の危機的状況を公表し、本当のを知ってもらいました。再建のために「篠山再生市民会議」を立ち上げて、市民の声を改革の中心に据えました。こういうとき議会や役所内からは声があがりません。丹波篠山らしいまちづくりは、本当のことをお知らせした上で市民の力で乗り越えるしかないです。

津久井 事実を前提に、依頼者の声に耳を傾ける弁護士の姿勢に通ずるものがありますね。

## ■法的メソッドの実践

津久井 私が注目したのは、部落差別を配信したニコニコ動画の運営会社に対し、市が裁判所に動画削除の仮処分申立てをして仮処分命令を得た件です。今年5月に報じられた件ですが、市が当事者となって法的手続を講じて差別問題に斬り込むって、すごいなと思いました。

酒井 決定が出たのは2月ですかね。6月議会で報告の準備をしたらマスコミが注目して、急に記者会見をすることになったんです。こんな差別動画、当然ダメでしょ。とはいえ、その地域の人が申立てに及ぶことは現実的にはできませんしね。その地域の方々の声を受けて、市役所としては、ふつうのことを当たり前にとやっただけです。

津久井 権力モデルとして、行政と市民は対峙することもあるでしょうし、行政の民事不介入という感覚も現場には根強くあると思うのですが。



(左から酒井市長、川嶋弁護士、会長)

酒井 いえいえ、市役所は市民の味方ですよ。行政は市民のために存在しているんですから、市民が困っているときに行政が動かないと。それが当たり前の感覚ですけどね。それに、丹波篠山には川嶋将太弁護士がいます。彼は、7年間法テラスで働いた後、3年前から市の職員弁護士としてひとりで3人分ぐらいの仕事をこなしてくれています。今回の動画削除の法的手続きだって、私は「やるぞ」と言っただけで、あとは川嶋弁護士がバリバリ頑張ってくれました。

津久井 川嶋先生は京都弁護士会所属ですよ。ぜひ当会に引っ張り込みたいです(笑)

酒井 お隣の京都府京丹波町から通ってもらってますから。動画削除の件で、彼のところに全国から講演依頼が来ます。私のところへの依頼はゼロですけどね(笑)この7月の中心地の火災被害で、近畿災害対策まちづくり支援機構の方々にも支援をいただいています。川嶋弁護士は、災害対応の経験も豊富ということで活躍中です。市の職員の信頼もガッチリ掴んで、毎日あらゆる部署から相談が絶えません。本当にありがたい。もう手放せない人材です。

## ■やさしいまなざしで作る制度

津久井 これまでの市政でも職員弁護士の登場する事件はありましたか。

酒井 今も裁判していますが、鶏の糞尿公害の案件があります。地域の方々のSOSがきっかけでしたが、行政指導だけでは解決しないので、条例制定や訴訟のほか、生活者の目線に立ってやれることはやります。市の川嶋弁護士は、住民の代理人の寛先生と共に頑張ってます。

津久井 ほかにも原発事故の避難者への手厚い支援や、市民への安定ヨウ素剤の事前配布、市の名称問題では住民投票の積極活用などアグレッシブで、かつ、やさしい住民目線が目立ちます。

酒井 民間の寄付を活用して基金を作りまして、原発避難者の支援をしました。10年続けている自治体は珍しいようですね。市民参画を進めたくて住民投票条例を作ったのですが、市名称変更の時に大いに活用されました。制度を作ることで課題を解決できるのも行政の醍醐味です。

津久井 最後に、昔の同朋である兵弁の会員に何かメッセージをいただけると幸いです。

酒井 やはり弁護士は正義と公平を武器に、社会的弱者の味方を貫いてほしいですね。企業や福祉など新たな分野への進出も進んでいます。地方議会の議員など地方政治の世界も有為な人材を求めているので、ぜひ挑戦してほしいと願っています。今後ともよろしくお願ひします。

(対談日 2021/9/14)



兵庫県弁護士会  
イメージキャラクター  
ヒマリオン  
Since2001



こんにちは。兵庫県弁護士会のイメージキャラクターのヒマリオンです。私は2001年11月27日に生まれたので、今年で20歳になります。生まれたとき、当時6歳の男の子が「ライオンみたいなひまわり」と名前を付けてくれました。日本中の弁護士会のゆるキャラ仲間の中で一番最初に誕生しました。えへん!性別はありません。男の子でも女の子でもありません。自由と正義をモットーに、みんなに身近で頼りになる、太陽のような存在でありたいと思っています。